

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
16106013	新手法による高ベータ球状トカマクプラズマの生成及び維持	高瀬 雄一（東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授）	A
<p>(意見等)</p> <p>この研究は、RF 手法を用いて超高ベータ球状トカマク (ST) の維持法と長時間維持を目標にしている。また、ST の核融合炉としての可能性を調べることも目的にしている。</p> <p>これまで、磁気リコネクションによる加熱機構の解明、高次高調速波 (HHFW) による電子加熱などで順調に成果を得ている。</p> <p>これらプラズマ基礎の理解を深める成果を得ているが、目的である ST の維持および核融合炉としての可能性の検討について、今後一層の努力を期待する。</p>			